

平成 23 年 9 月期 第 3 四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成 23 年 8 月 12 日

上場会社名 株式会社アドバンスクリエイト 上場取引所 大
 コード番号 8798 URL <http://www.advancecreate.co.jp/>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 濱田 佳治
 問合せ先責任者 (役職名) 執行役員管理部長 (氏名) 大原 勲 (TEL) 06-6204-1193
 四半期報告書提出予定日 平成 23 年 8 月 12 日 配当支払開始予定日 ー
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成 23 年 9 月期第 3 四半期の連結業績 (平成 22 年 10 月 1 日～平成 23 年 6 月 30 日)

(1) 連結経営成績 (累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
23 年 9 月期第 3 四半期	5,604	13.1	1,126	144.4	897	321.8	482	118.1
22 年 9 月期第 3 四半期	4,957	6.3	460	24.9	212	57.8	221	261.4

	1 株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1 株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
23 年 9 月期第 3 四半期	4,463.50	4,414.97
22 年 9 月期第 3 四半期	2,019.41	2,010.41

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1 株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
23 年 9 月期第 3 四半期	6,169	3,558	57.6	33,347.44
22 年 9 月期	7,837	4,607	45.8	32,784.14

(参考)自己資本 23 年 9 月期第 3 四半期 3,556 百万円 22 年 9 月期 3,587 百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第 1 四半期末	第 2 四半期末	第 3 四半期末	期 末	合 計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
22 年 9 月期	—	1,500.00	—	1,500.00	3,000.00
23 年 9 月期	—	1,500.00	—		
23 年 9 月期 (予想)				1,500.00	3,000.00

(注)当四半期における配当予想の修正有無 : 無

3. 平成 23 年 9 月期の連結業績予想 (平成 22 年 10 月 1 日～平成 23 年 9 月 30 日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1 株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通 期	7,750	14.4	1,550	102.2	1,300	202.7	650	45.7	5,994.26

(注)当四半期における業績予想の修正有無 : 無

4. その他（詳細は、【添付資料】P.3「その他の情報」をご覧ください。）

- (1) 当四半期中における重要な子会社の異動 : 有
新規 一社 ()、除外 一社 (アドリック損害保険株式会社)
(注) 当四半期会計期間における連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動の有無となります。

- (2) 簡便な会計処理及び特有の会計処理の適用 : 有
(注) 簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用の有無となります。

(3) 会計処理の原則・手続、表示方法等の変更

- ① 会計基準等の改正に伴う変更 : 有
② ①以外の変更 : 無

(注) 「四半期連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項等の変更」に記載される四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更の有無となります。

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	23年9月期3Q	109,991株	22年9月期	112,391株
② 期末自己株式数	23年9月期3Q	3,344株	22年9月期	2,963株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	23年9月期3Q	108,171株	22年9月期3Q	109,632株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

- この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期報告書レビュー手続の対象外であります。なお、この四半期決算短信の開示時点において、四半期財務諸表に対する四半期レビューは完了しております。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

- 本資料に記載されている当社の業績見通しは、本資料の日付時点において入手可能な情報による判断及び仮定を前提にしており、実際の業績は様々な要因によって異なる場合があります。

○添付資料の目次

1. 当四半期の連結業績等に関する定性的情報	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報	2
(3) 連結業績予想に関する定性的情報	3
2. その他の情報	3
(1) 重要な子会社の異動の概要	3
(2) 簡便な会計処理及び特有の会計処理の概要	3
(3) 会計処理の原則・手続、表示方法等の変更の概要	3
3. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書	6
(第3四半期連結累計期間)	6
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	7
(4) 継続企業の前提に関する注記	9
(5) セグメント情報	9
(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	10

1. 当四半期の連結業績等に関する定性的情報

(1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は、東日本大震災の影響による経済活動の停滞が正常化しつつありますが、国内の電力不足問題や円高の進行、米欧の財政悪化に伴う経済の減速懸念等、景気の先行きは依然として不透明さを増す状況となっております。

このような状況の下、当社グループは、「お客様が最適・快適な購買環境で、簡単便利に保険を購入いただく」ことを基本方針とし、あらゆる保険ニーズに対応できるプラットフォーム戦略を推進し、お客様のニーズに機敏に対応してまいりました。

当社の基幹である日本最大級の保険比較サイト「保険市場（ほけんいちば）」は、パソコン・モバイルはもとより、iPhoneに代表されるスマートフォンにも対応する中で「保険のプラットフォーム」として圧倒的な集客力の下、「Web to Real」を高度に実現し、新規契約の増加につなげております。

また、「保険市場（ほけんいちば）」サイトにおきましては、FacebookやTwitterなどのソーシャルメディアを新たなマーケティング開発ツールとしてその活用策の研究をすすめ、更なる進化と発展を目指しております。

また、ネットからの資料請求情報をテレマーケティング部門の機能向上と増強により、更に確度の高いお客様情報として着実に捉えております。その情報をベースとして、元受保険会社及び来店型保険ショップやコンサルティング営業を展開する他の保険代理店と協同して対応する「協業」戦略を強化し、当社の来店型店舗の「保険市場（ほけんいちば）」25拠点と合わせて、多様化するお客様ニーズに的確に対応しております。

以上の取組みにより、当第3四半期連結累計期間における新規の保険契約件数は198千件（前年同期比14.6%増）、当第3四半期連結会計期間末の保有契約件数につきましても425千件（前連結会計年度末比8.9%増）となりました。

この結果、当第3四半期連結累計期間の売上高は5,604百万円（前年同期比13.1%増）、営業利益は1,126百万円（前年同期比144.4%増）、経常利益は897百万円（前年同期比321.8%増）、最終損益では、特別損失に連結子会社の事業整理損443百万円を計上しましたが、四半期純利益で482百万円（前年同期比118.1%増）となりました。また、この結果、営業利益、経常利益、四半期純利益とも過去最高益となりました。

セグメントの業績は次のとおりであります。

保険代理店事業におきましては、当第3四半期連結累計期間の営業収益は5,470百万円、営業利益は1,099百万円となりました。

広告代理店事業におきましては、当第3四半期連結累計期間の売上高は245百万円、営業利益は28百万円となりました。

再保険事業におきましては、元受保険各社との紐帯強化をベースに、当第3四半期連結累計期間における売上高は63百万円、営業利益は0百万円となりました。

なお、重要性が低下した為、第2四半期連結会計期間より報告セグメントから除外しておりました損害保険事業につきましては、当第3四半期連結会計期間に撤退を完了しております。

(2) 連結財政状態に関する定性的情報

①資産、負債及び純資産の状況

当第3四半期連結会計期間末の財政状態は、前連結会計年度末に比べ総資産は1,668百万円減少し6,169百万円、負債は619百万円減少の2,610百万円、純資産は1,049百万円減少の3,558百万円となりました。

資産の減少の主な要因は、アドリック損害保険株式会社の連結除外に伴う資産の減少1,881百万円であります。負債の減少の主な要因は、社債の償還による減少240百万円であります。また、純資産の減少の主な要因は少数株主持分の減少1,018百万円であります。

②キャッシュ・フローの状況

当第3四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物（以下「資金」という。）は、前連結会計年度末に比べ629百万円減少し、553百万円となりました。当第3四半期連結累計期間における各キャッシュ・フローの状況は次のとおりであります。

1. 当四半期の連結業績等に関する定性的情報

（営業活動によるキャッシュ・フロー）

当第3四半期連結累計期間においては、税金等調整前四半期純利益421百万円（前年同期は180百万円）を計上したこと等により、営業活動の結果獲得した資金は806百万円（前年同期は19百万円の収入）となりました。

（投資活動によるキャッシュ・フロー）

当第3四半期連結累計期間において投資活動の結果使用した資金は、保険業法第113条繰延資産の取得による支出356百万円（前年同期は432百万円の支出）等により、550百万円の支出（前年同期は681百万円の支出）となりました。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

当第3四半期連結累計期間において財務活動の結果使用した資金は、配当金の支払307百万円（前年同期は305百万円の支出）等により、884百万円の支出（前年同期は631百万円の収入）となりました。

(3) 連結業績予想に関する定性的情報

平成23年9月期の連結業績予想につきましては、平成23年2月10日公表の「業績予想の修正に関するお知らせ」及び平成23年3月30日公表の「連結子会社の異動に伴う特別損失の計上及び業績予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

2. その他の情報

(1) 重要な子会社の異動の概要

アドリック損害保険株式会社は平成23年6月1日にあいおいニッセイ同和損害保険株式会社に吸収合併されたことにより消滅いたしました。

(2) 簡便な会計処理及び特有の会計処理の概要

①固定資産の減価償却費の算定方法

定率法を採用している資産については、連結会計年度に係る減価償却費の額を期間按分して算定する方法によっております。

②法人税等並びに繰延税金資産及び繰延税金負債の算定方法

法人税等の納付税額の算定に関しては、加味する加減算項目や税額控除項目を重要なものに限定する方法によっております。

繰延税金資産の回収可能性の判断に関しては、前連結会計年度末以降に、経営環境等、かつ、一時差異等の発生状況に著しい変化がないと認められるため、前連結会計年度決算において使用した将来の業績予測及びタックス・プランニングを利用しております。

(3) 会計処理の原則・手続、表示方法等の変更の概要

①会計処理基準に関する事項の変更

資産除去債務に関する会計基準の適用

第1四半期連結会計期間より、「資産除去債務に関する会計基準」（企業会計基準第18号 平成20年3月31日）及び「資産除去債務に関する会計基準の適用指針」（企業会計基準適用指針第21号 平成20年3月31日）を適用しております。

これによる営業利益、経常利益及び税金等調整前四半期純利益に与える影響はありません。

企業結合に関する会計基準等の適用

当第3四半期連結会計期間より、「企業結合に関する会計基準」（企業会計基準第21号 平成20年12月26日）、「連結財務諸表に関する会計基準」（企業会計基準第22号 平成20年12月26日）及び「企業結合会計基準及び事業分離等会計基準に関する適用指針」（企業会計基準適用指針第10号 平成20年12月26日）を適用しております。

②表示方法の変更

「連結財務諸表に関する会計基準」（企業会計基準第22号 平成20年12月26日）に基づく「財務諸表等の用語、様式及び作成方法に関する規則等の一部を改正する内閣府令」（平成21年3月24日 内閣府令第5号）の適用により、当第3四半期連結累計期間では、「少数株主損益調整前四半期純利益」の科目で表示しております。

3. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	当第3四半期連結会計期間末 (平成23年6月30日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成22年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	656,141	1,210,262
受取手形及び売掛金	1,751,377	1,333,631
繰延税金資産	253,592	253,592
その他	231,809	221,557
貸倒引当金	—	△1,274
流動資産合計	2,892,921	3,017,769
固定資産		
有形固定資産	390,944	463,123
無形固定資産		
のれん	127,013	166,331
広告実施権等	159,860	187,949
ソフトウェア	389,303	216,314
その他	157,491	355,152
無形固定資産合計	833,669	925,748
投資その他の資産		
投資有価証券	176,817	201,829
保険積立金	1,094,230	1,077,756
差入保証金	685,375	566,478
その他	78,404	241,411
投資その他の資産合計	2,034,828	2,087,475
固定資産合計	3,259,441	3,476,346
繰延資産		
開業費	750	117,665
保険業法第113条繰延資産	—	1,169,374
その他	16,001	56,736
繰延資産合計	16,751	1,343,776
資産合計	6,169,114	7,837,892
負債の部		
流動負債		
短期借入金	600,000	642,500
賞与引当金	190,881	125,995
代理店手数料戻入引当金	38,016	20,929
その他	937,665	1,320,579
流動負債合計	1,766,564	2,110,004
固定負債		
社債	450,000	540,000
退職給付引当金	83,303	60,353
その他	310,782	519,910
固定負債合計	844,085	1,120,263
負債合計	2,610,649	3,230,267

(単位：千円)

	当第3四半期連結会計期間末 (平成23年6月30日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成22年9月30日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	2,915,314	2,915,314
資本剰余金	483,707	615,018
利益剰余金	361,630	205,117
自己株式	△212,873	△155,243
株主資本合計	3,547,779	3,580,207
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	8,625	7,295
評価・換算差額等合計	8,625	7,295
新株予約権	2,060	2,060
少数株主持分	—	1,018,061
純資産合計	3,558,465	4,607,625
負債純資産合計	6,169,114	7,837,892

(2) 四半期連結損益計算書
(第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成21年10月1日 至平成22年6月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成22年10月1日 至平成23年6月30日)
売上高	4,957,503	5,604,614
売上原価	1,604,736	1,464,647
売上総利益	3,352,767	4,139,967
販売費及び一般管理費	2,891,980	3,013,843
営業利益	460,786	1,126,124
営業外収益		
受取利息及び配当金	4,127	2,488
その他	28,684	7,349
営業外収益合計	32,811	9,838
営業外費用		
支払利息	33,437	22,842
開発費償却	56,078	28,138
保険業法第113条繰延資産償却	129,009	142,368
その他	62,188	44,710
営業外費用合計	280,713	238,059
経常利益	212,884	897,902
特別利益		
持分変動利益	38,631	—
投資有価証券売却益	34,511	—
保険解約返戻金	24,032	—
貸倒引当金戻入額	—	1,274
その他	2,060	—
特別利益合計	99,235	1,274
特別損失		
固定資産除却損	32,436	—
店舗閉鎖損失	52,191	29,775
投資有価証券売却損	44,810	—
災害による損失	—	2,041
事業整理損	—	443,428
その他	1,791	2,418
特別損失合計	131,229	477,663
税金等調整前四半期純利益	180,890	421,513
法人税、住民税及び事業税	25,400	19,646
法人税等合計	25,400	19,646
少数株主損益調整前四半期純利益	—	401,866
少数株主損失(△)	△65,901	△80,954
四半期純利益	221,391	482,821

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成21年10月1日 至平成22年6月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成22年10月1日 至平成23年6月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	180,890	421,513
減価償却費	236,794	269,571
のれん償却額	24,612	22,462
保険業法第113条繰延資産償却額	129,009	142,368
繰延資産償却額	106,499	60,811
貸倒引当金の増減額(△は減少)	△2,060	△1,274
賞与引当金の増減額(△は減少)	65,714	71,068
退職給付引当金の増減額(△は減少)	21,861	22,950
代理店手数料戻入引当金の増減額(△は減少)	—	17,086
受取利息及び受取配当金	△4,127	△2,488
支払利息	33,437	22,842
持分変動損益(△は益)	△38,631	—
売上債権の増減額(△は増加)	△778,575	△401,488
事業整理損失	—	443,428
未払金の増減額(△は減少)	△2,818	—
その他	129,421	△211,781
小計	102,028	877,071
利息及び配当金の受取額	4,844	6,165
利息の支払額	△30,792	△19,561
法人税等の支払額	△50,705	△30,279
店舗閉鎖による支出	△30,230	△24,525
その他の支出	—	△1,958
その他の収入	24,032	—
営業活動によるキャッシュ・フロー	19,177	806,911
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の預入による支出	△241,526	△225,011
定期預金の払戻による収入	173,132	150,010
有形固定資産の取得による支出	△38,428	△194,456
投資有価証券の売却及び償還による収入	116,863	30,000
無形固定資産の取得による支出	△107,162	△147,712
連結の範囲の変更を伴う子会社株式の売却による収入	—	230,123
貸付けによる支出	—	△45,600
保険積立金の積立による支出	△25,858	—
差入保証金の差入による支出	△177,525	△30,263
差入保証金の回収による収入	33,422	34,667
保険業法第113条繰延資産の取得による支出	△432,757	△356,864
その他	18,212	4,341
投資活動によるキャッシュ・フロー	△681,627	△550,765

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 平成21年10月1日 至 平成22年6月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自 平成22年10月1日 至 平成23年6月30日)
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入れによる収入	1,351,321	1,085,000
短期借入金の返済による支出	△566,321	△1,127,500
長期借入金の返済による支出	△69,300	△69,300
社債の償還による支出	△240,000	△240,000
自己株式の取得による支出	△46,504	△198,906
配当金の支払額	△305,653	△307,712
少数株主からの払込みによる収入	496,353	—
その他	12,025	△26,444
財務活動によるキャッシュ・フロー	631,921	△884,863
現金及び現金同等物に係る換算差額	273	△404
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△30,254	△629,121
現金及び現金同等物の期首残高	1,259,143	1,182,243
現金及び現金同等物の四半期末残高	1,228,889	553,121

(4) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(5) セグメント情報

(セグメント情報等)

【事業の種類別セグメント情報】

前第3四半期連結累計期間（自平成21年10月1日 至平成22年6月30日）

	保険代理店事業 （千円）	広告代理店事業 （千円）	損害保険事業 （千円）	再保険事業 （千円）	計（千円）	消去又は全社 （千円）	連結 （千円）
売上高							
(1) 外部顧客 に対する 売上高	4,685,182	159,571	92,252	20,497	4,957,503	—	4,957,503
(2) セグメン ト間の内 部売上高 又は振替 高	87,745	71,273	—	—	159,018	(159,018)	—
計	4,772,927	230,844	92,252	20,497	5,116,522	(159,018)	4,957,503
営業利益又は営 業損失（△）	482,528	△3,266	26	△16,608	462,680	△1,893	460,786

(注) 1. 事業区分の方法

経営の実態が具体的かつ適切に開示できるよう、事業を区分しております。

2. 各事業区分の内容

保険代理店事業 生命保険及び損害保険の代理店業。

広告代理店事業 Webプロモーションその他広告業務取扱い及び企画、制作並びにマーケティング等サービス活動。

損害保険事業 損害保険業。

再保険事業 再保険業。

【所在地別セグメント情報】

前第3四半期連結累計期間（自平成21年10月1日 至平成22年6月30日）

本邦の売上高は、全セグメントの売上高の合計に占める割合が90%超であるため、所在地別セグメント情報の記載を省略しております。

【海外売上高】

前第3四半期連結累計期間（自平成21年10月1日 至平成22年6月30日）

海外売上高は、連結売上高の10%未満であるため、海外売上高の記載を省略しております。

【セグメント情報】

①報告セグメントの概要

当社の報告セグメントは、当社の構成単位のうち分離された財務情報が入手可能であり、取締役会が、経営資源の配分の決定及び業績を評価するために、定期的に検討を行う対象となっているものであります。

当社グループは、当社及び連結子会社を構成単位とした単位により事業活動を展開しております。

従って当社グループは事業の種類に基づき「保険代理店事業」、「広告代理店事業」、「再保険事業」の3つを報告セグメントとしております。

各報告セグメントの概要は以下の通りであります。

保険代理店事業 生命保険、損害保険の代理店業及び付帯業務

広告代理店事業 Webプロモーションその他広告業務取扱い及び企画、制作並びにマーケティング等サービス活動

再保険事業 再保険業

②報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

当第3四半期連結累計期間（自平成22年10月1日至平成23年6月30日）

（単位：千円）

	報告セグメント				その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3
	保険代理店 事業	広告代理店 事業	再保険事業	計				
売上高								
外部顧客への売上高	5,339,518	201,569	63,527	5,604,614	—	5,604,614	—	5,604,614
セグメント間の内部売上高又は振替高	131,152	44,380	—	175,533	—	175,533	△175,533	—
計	5,470,670	245,949	63,527	5,780,147	—	5,780,147	△175,533	5,604,614
セグメント利益	1,099,606	28,620	402	1,128,629	—	1,128,629	△2,505	1,126,124

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、損害保険事業を含んでおります。

2. セグメント利益の調整額△2,505千円にはセグメント間取引消去△97千円及びのれんの償却額△2,407千円が含まれております。

3. セグメント利益は四半期連結損益計算書の営業利益と一致しております。

③報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

④報告セグメントの変更等に関する事項

当社は、従来、「保険代理店事業」、「広告代理店事業」、「損害保険事業」、「再保険事業」の4つを報告セグメントとしておりましたが、第2四半期連結会計期間より、「保険代理店事業」、「広告代理店事業」、「再保険事業」の3つに変更しております。

この変更は、第2四半期連結会計期間において、損害保険事業におけるアドリック損害保険株式会社が、あいおいニッセイ同和損害保険株式会社に吸収合併される見込みとなり、当社グループにおける重要性が低下したことによるものであります。なお、当該吸収合併は平成23年6月1日に予定通り完了しております。

(追加情報)

第1四半期連結会計期間より、「セグメント情報等の開示に関する会計基準」（企業会計基準第17号 平成21年3月27日）及び「セグメント情報等の開示に関する会計基準の適用指針」（企業会計基準適用指針第20号 平成20年3月21日）を適用しております

(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。